



マナウス日本人学校 学校便り

# マナウス

平成 30 (2018) 年 9 月 28 日 第 6 号

学校教育目標

- ・自ら進んで学びとる子ども (知)
- ・礼儀正しく思いやりのある子ども (徳)
- ・心と体を鍛える子ども (体)

## 話す内容や話し方に学びの深まり見られたミニ弁論大会

マナウス日本人学校 校長 中川 勝美

13日(木)に文化コースの児童生徒によるミニ弁論大会を行いました。今年度は、内容や話し方に学びの深まりが見られ、年々表現力を高める学習を積み重ねていくことによる質的变化が現れた大会となりました。

とりわけ、Kさんの「もったいない」という言葉を知って、自分の生活を見直す経験を元に、「もったいないをブラジルにも広めよう。」という主張、Eさんの戦争について調べたことから、強盗などの犯罪も一種の戦争ではないかと発想を転換し、さらに、ひいおじいさんの戦争体験から敵兵にも食事を与えた助け合いの心に共感して、「平和な世の中は相手を理解することから始まる。」という主張、Dさんの目標を立てることで勉強に対する姿勢が変わり成績が上がってきた経験から、「目標を立てて頑張ることは、自分だけでなく、周りにも良い影響を与える。」という主張には、感心させられました。

どの子供たちも主張がはっきりとした、聞き手を意識して発表する学習の成果がよく見える発表になりました。

結果は、次の通りです。(1位のみ)

《低学年の部》	H.U さん
《高学年の部》	E.E さん
《中学生の部》	D.E さん

## 絆を深めたアマゾン体験学習

9月1日(土)～2日(日)の一泊二日の日程で、アマゾン体験学習を実施しました。

「ほないこか、アマゾン川へ Let's Go!!～責任、笑顔、成長～」のローガンのもと、アマゾンの大自然を体全体で学ぶ体験学習にしよう取り組みました。

今年度は、縦割り班の活動を縦糸とし、係活動を横糸にして子供たちが創り上げる体験学習を目指しました。

また、今年度の特別措置ではありましたが、低学年もヘッジ(ハンモック)で就寝体験を実施しました。ゆらゆらと揺れるヘッジに低学年の子供たちも大満足のように、ぐっすり寝ていたよう

でした。雄大なアマゾンのネグロ河水遊びや出田プライヤのご厚意で使わせていただいた広いステージでの班の出し物・夜レクを満喫したようでした。

子供たちは、アマゾンという大自然を肌で感じ、楽しくかつ絆を深める連帯感を味わうことができたことと思います。

終わりになりますが、子供たちの送迎に関わり、お休みにもかかわらずお越しいただき、ありがとうございました。



10月行事予定

**夏休み中に不安定だった電圧を安定させるため、変圧器を交換しました。また、鉄棒やジャングルジム及び体育館のネットの溶接補強を実施しました。さらに、9月に文化コースの屋根の交換とシロアリ駆除の工事をしました。**